

【日本語探偵】

【さ】「させていたただく」に
私たちが助けられている

29

文・絵

飯間浩明

(国語辞典編纂者)

「考えさせていたただく」「採用させていたただく」などの「させていたただく」は、目の敵にされる表現です。何かというと使われ、耳障りだというのです。

ただ、どんなことばでも、濫用されれば耳に立つのは当たり前です。むしろ、私たちは「させていたただく」に恩義があります。というのも、敬語の欠陥を助けてもらっているからです。

日本語の敬語は、すきのない体系があるようですが、案外いい加減です。

敬語の基礎は、動詞の尊敬形・謙讓形の両方を使い分けることです。たとえば、「尋ねる」の尊敬形は「(先生が

ふつうの言い方	謙讓語Ⅰ	謙讓語Ⅱ
会う	お目にかかる／お会いする	
言う	申し上げます	申す
行く	うかがう／おうかがいする	まいる
いる		おる
思う		存じる
借りる	お借りする／拝借する	
きく	うかがう／おうかがいする／お聞きする／拝聞する／拝聴する	
着る	言い方がない	
来る	うかがう／おうかがいする	まいる
くれる		
知っている	存じ上げている	存じておる
死ぬ		
する		いたす
訪ねる	うかがう／おうかがいする／お訪ねする／おじゃまする／参上する	まいる
尋ねる	うかがう／おうかがいする／お尋ねする	
食べる	いただく	
寝る		
飲む	いただく	
待つ	お待ちする	
見せる	お見せする／ご覧に入れる／お目にかける	
見る	拝見する	
もらう	いただく／ちょうだいする	
やる	差し上げる	
読む	拝読する	

『ごどもマナーとけいご絵じてん』(三省堂) により作成

謙讓語になりにくい動詞

(a) 単純動詞

歩く・歌う・買う・帰る・関わる・書く・考える・決める・着る・進める・住む・座る・立つ・楽しむ・使う・出る・通る・なる・寝る・残る・乗る・入る・走る・始める・働く・離れる・学ぶ・戻る・やめる・笑う

(b) サ変動詞

運転する・開催する・活用する・記録する・検査する・公開する・作成する・撮影する・参加する・実行する・使用する・処理する・設置する・調査する・判断する・販売する・勉強する・変更する・落札する・利用する

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の短単位語彙表を参考に抽出

『新潮現代文学』の「○○させていただく」類

「〈お／ご〉～する」の形に

A 言い換えられるもの	27 例	(13.4%)
B 言い換えられない（言い換えにくい）もの	149 例	(73.8%)
C もともと謙譲動詞を含むもの	26 例	(12.9%)

『新潮現代文学』の「○○させていただく」類

A…聞く（5例）・出す（2例）

B…する（23例）・帰る（6例）・失礼する・休む（各5例）・読む（4例）・つけ加える・取る・述べる・辞める（各3例）・甘える・引用する・買う・飾る・聞く・加える・サービスする・診察する・座る・食べる・使う・入院する・入る・引き上げる・やる（各2例）

〈つまり私、志を立てて郷関を出るといった気持で上野駅に着きますと、すぐその足で、当時バラック建築だった^{もみやま} 靱山旅館を訪ねまして、そのの旦那の口添で、建築中の^{くきもと} 柗元旅館の本帳場に納まることにさせて
いただきました〉 (井伏鱒二「駅前旅館」)

〈しばらくお庭をながめて休ませていただきたいのです〉

(阿川弘之「雲の墓標」)

〈先生の批評は、〔略〕私も、熱心に読ませていただいています〉

(丹羽文雄「魂の試される時」)

〈〔奇術師の発言〕数を書き終ったようですね。では、〔私は〕目隠しをとらせていただく〉 (井上ひさし「月なきみそらの天坊一座」)

させていただく（助動五型）（↑連語または助動詞「させる」の連用形＋接続助詞「て」＋補助動詞「いただく」）

① 許しをもらってするときの、けんそんした言い方。

「先生の本をコピーー・かばんの中身を改めー・蔵書を見ー」〔動詞『見せる』を使う『見せていただく』のほうが伝統的〕

② 許しをもらってするかのように、自分の行為いこうをけんそんする言い方。

「私が司会をさせていただけます・新年のごあいさつはひかえー・お会いー」

③ 思いどおりにするとき、うわべだけ礼儀ぎらいを示した言い方。

「断固反対ー」

▽戦後、関西から東京にはいつて広まり、二十世紀末に使用が増えた〔ただし、昭和初期の東京の例もある〕。「させてもらう」よりいいねい。さしていただく〔話〕。



① 動詞を「ご…いたします」などの形で謙讓

けんじょう表現にできない場合、それに代わる表現として便利に使われる。たとえば、「案内する」は「ご案内いたします」の形にでき

させていただく(助動五型)(↑連語または
助動詞「させる」の連用形+接続助詞「て」+
補助動詞「いただく」)

昭和末期の東京の例もある。「させてい
う」より「いいねい。さしていただく[話]」。



- (1)動詞を「ご…いたします」などの形で謙讓
表現にできない場合、それに代わる表
現として便利に使われる。たとえば、「案
内する」は「ご案内いたします」の形にでき
るので、ことさら「案内させていただきます
す」と言う必要はない。ところが、「中止す
る」は「ご中止いたします」とは言えないの
で、けんそんやおわびの気持ちをこめて
「中止させていただきます」とも言う。「中
止いたします」でいい場合も多い。
(2)「感動させていただきました」のように、
相手と関係ないことに使うのは、ていねい
すぎる。
(3)「読まさせていただく」の形は標準的でな
い。「読む」など五段の動詞には「読ませて
いただく」のように「せていただく」をつけ
る。👉さ入れことば。

聖
寺
日
比
谷
公
園

麥湯をあげます

はがきをあげます

代筆をしてあげます

讀経をしてあげます

お骨を預ります

おくすりをあげます